

連携医院のご紹介

今回は、「地域密着」、「人とのつながり」を大切にされておられる岡田外科 院長の藤田 毅先生と副院長の 藤田 恵子 先生です。



↑岡田外科「節分の豆まき」のときの様子です。

岡田外科

〒734-0037
広島県広島市南区霞1丁目5-9
電話/082-281-2802
院長/藤田 毅、副院長/藤田 恵子
診療科/内科、胃腸科、放射線科
外科、整形外科、
リハビリテーション科

○貴院の歴史・理念をお教えてください

昭和27年、先代が開業しました。当時は原爆の被害の後で、この近くに県庁がありました。往診や救

急など色々なことに対応してきました。

○先生が診察の時に大切にされていることは

やはり、「地域に密着して」、ということが大切です。再開発により、古い街並みがなくなり、築き上げたものを失うのは辛い体験で、虚脱感を感じ、うつになられる高齢者がおられます。可能な限り、地域の方の御相談に応じたいと思っています。また介護保険制度スタートからケアマネージャー（介護支援専門員）としての活動もしてきました。ケアマネージャーも1名在籍し、当院の患者の支援にあたっています。

○開業医としてのやりがいは、何ですか？

先代院長も私たち自身も、患者さんや地域に支えられてきたという感謝の思いがあります。スタッフも長く勤めてくれています。地域医療を通して、この仕事をしていなかったら、経験できなかったような、人とのつながりができたことですね。人間関係が希薄になったといわれる今日ですが、そういうつながりは、地域の小さな病院の現場に、多く残っているのではないかと思います。

【取材後記】

医療だけでなく介護にも造詣の深い藤田先生。先代の院長先生からずっと、地道に地域の方の要請に応え続けられてきたことが、ひしひしと伝わるお話でした。

外来診療のご案内

- 診療受付時間 午前8時30分～午前11時00分
※午後の診察は科によって異なります。
- 休診日 土曜日・日曜日・祝祭日
年末年始（12月29日～1月3日）
- 紹介状持参のお願い 初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費のほか2,620円のお支払が必要となります。初診の際には、紹介状をお持ちください。

※当院では、予約診療を優先して診察しています。予約診療以外で受診されると待ち時間が長くなる場合がありますので、ご了承ください。

ご案内

がん医療従事者研修会

- と き/10月11日（火）
19：00から20：00まで
- ところ/中央棟2階 講堂
- 内 容/「がん手術療法の最前線」
（乳がん・大腸がんについて）
- 対 象/医療関係者
- 問い合わせ先/総務課
TEL：082-254-1818（内線：4272）

10月のがんサロン

- と き/10月18日（火）14：00から15：30まで
- ところ/新東棟2階 研修室
- 内 容/交流会：参加された方同士の自由なお話の場です。

- 対 象/当院に悪性腫瘍（がん）で通院または入院治療中の患者様及びご家族
- 問い合わせ先/地域連携科
TEL：082-256-3562（直通）

がん拠点病院共催市民講演会

- と き/10月29日（土）
13：30から15：30まで
- ところ/広島県民文化センター
- 内 容/「外来でおこなうがん治療」
- 対 象/どなたでも参加できます。
（参加申込が必要です）
- 問い合わせ先/総務課・地域連携科
TEL：082-254-1818（代表）

※詳しくは県立広島病院ホームページへ。 [県立広島病院](http://www.hph.pref.hiroshima.jp/) で 検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)

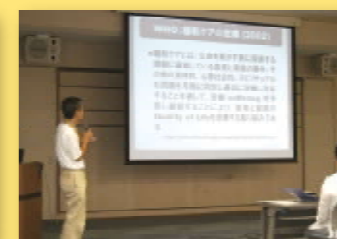


県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページに掲載しています。
県立広島病院 で 検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)

理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

【がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会】



【地域巡回講演会】



写真は、当院が実施した「地域巡回講演会」と「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」の様子です。

当院の使命として、地域医療の充実と貢献に今後とも頑張っております。

事務局長 三宅 静香

ワンポイント健康メモ — 糖尿病の予防 —

食事をすると食べものは消化されてブドウ糖に分解され、ブドウ糖は血液にはいって血糖となります。食事をして血糖が上がると、すい臓からインスリンというホルモンが出てきます。インスリンは血糖をからだの細胞に送り込んで、エネルギーとして利用するはたらきがあります。インスリンのはたらきが悪くなると、血糖が細胞の中に運ばれなくなって、血液のなかにあふれてしまいます。糖尿病はインスリンがすい臓から出なくなったり、インスリンのはたらきが悪くなったりして、血糖値が高くなる病気です。

糖尿病を予防するためには、肥満を防ぐことが重要です。肥満を防ぐためには、食事と運動のバランスが大切です。糖尿病を予防するため、

①野菜をたっぷりとり、②食事は決まった時間に、時間をかけて食べる、

③甘いものや油っぽいものは食べ過ぎない、④ひとり分ずつ、取り分けて食べる、⑤ながら食いはやめる、⑥調味料は「かける」ではなくて「つける」などをふだんの食事で気をつける必要があります。

糖尿病を防ぐには、無理のない、適度な運動も必要です。運動をしないと筋肉はやせて、体重は少なくとも脂肪の多い身体になります。これを「かくれ肥満」といいますが、かくれ肥満になると、基礎代謝が減ってしまいます。基礎代謝は、何もしないときでもからだが必要とするエネルギー量のことです。かくれ肥満だと同じ身長・体重の人が同じ分量の食事をとっても、使うエネルギー量が少ないので、脂肪になる分量が多くなってしまいます。運動をすることでからだについた脂肪を減らしたり、筋肉をつけて基礎代謝の多いからだを作ることが大切です。

糖尿病・内分泌内科 久保 敬二

診療科だより

第12回

心臓血管・呼吸器外科

手術が安全に行えるよう努めています！

今回は、心臓血管・呼吸器外科の三井主任部長に直撃インタビューです。！！

はじめに、「心臓血管・呼吸器外科」について教えてください。

当科は昭和47年から当院にて胸部疾患に対する手術を開始し、昭和49年に胸部外科として独立、その後平成22年に心臓血管・呼吸器外科と名称を変更して現在に至っています。



みつい 三井主任部長

りの患者様について外科や内科の立場から十分議論を行った上で、その方にとって最良と思われる治療法を選択しています。また手術にあたっては麻酔科や臨床工学科とも連携をとりながらスムーズに手術が行えるように心がけています。

心臓血管・呼吸器外科のスタッフを紹介してください。

心臓血管部門は三井、岡田、濱石の3名、また呼吸器外科部門は平井、片山の2名、計5名で診療ならびに手術を行っています。いずれも心臓血管外科専門医、呼吸器外科専門医あるいは外科専門医の資格を有しています。

心臓血管・呼吸器外科として心がけていることを教えてください。

まず手術が安全に行えるように、また手術後なるべく早く日常生活に復帰できるよう、手術室や病棟のスタッフとも協力して日々の治療にあたっています。



前列左から、平井、三井、岡田
後列左から、片山、濱石

次回は、臨床工学科に直撃インタビューします。

心臓血管・呼吸器外科では、どのような治療をしていますか？

当科は心臓血管外科部門と呼吸器外科部門からなっています。

心臓血管外科部門では、狭心症や心筋梗塞に対しての手術（冠動脈バイパス術）、心臓弁膜症に対しての手術（弁形成術ならびに弁置換術）、大動脈の病気（大動脈解離や胸部、腹部大動脈瘤）に対しての手術（人工血管置換術）、足の血流障害に対しての手術（下肢バイパス術）、不整脈に対しての手術（ペースメーカーなど）や静脈瘤に対しての手術などを行っています。

呼吸器外科部門では、肺癌（原発性、転移性）やその他の肺腫瘍に対しての手術、気胸および肺嚢胞性疾患に対する手術、胸膜疾患に対する手術、縦隔腫瘍に対しての手術などを行っています。

両部門ともそれぞれ循環器内科、呼吸器内科、臨床腫瘍科、放射線科などと綿密に連絡を取り、ひとりひと

入院患者様対象の新サービス！

焼きたてパン・ホットコーヒーを提供しています。

入院患者様を対象に、その日の朝に当院で焼きあげたパンと挽きたての豆で入れた香り高いコーヒーの提供を始めました。ぜひ、ご賞味ください。（別途料金が必要となります。）

【費用】

●焼きたてパン 1皿90円（朝食の主食の代わりとなります。）

●ホットコーヒー 1杯70円（朝食・昼食・夕食に追加で注文できます。）

※並食・産科食・もみじ食・あじわい食を食べておられる入院患者様が対象です。

※焼きたてパンの料金は現在朝食にお出ししている主食の料金との差額です。料金は退院時または月末の入院費清算時にまとめて請求させていただきます。

※コーヒーのミルクと砂糖は患者様でご準備ください。



外科医の独り言

—嫌な奴は大事にしろ？—

イギリスの歴史学者トインビー（1889～1975）のエッセイに書かれていたことです。

19世紀の英国ではナマコはよく食されていたようですが、海から揚げたナマコは海水に漬けてロンドンまで運ばれていました。現代のように循環する生簀ごと輸送できるはずもなく、丸一日かけて生きてきたまま運ぶのは至難の業で、ロンドンに着いた時にはナマコのほとんどは死んでいたそうです。ある時、漁師が過ぎてナマコの天敵として知られていたカニと一緒に運んでしまったところ、なんとほとんどのナマコは生きていたそうです。さてこの事は何を意味するのでしょうか？天敵と一緒にされたナマコの生命力は強化されたのです。そうです、天敵と一緒にいる、という緊張感がナマコの生命力を増したようです。ナマコは敵の攻撃を受けると、肛門から内臓を放出するものもあります。吐き出した内臓は、1～3ヶ月で再生されるそうです。人間より単純な構造を持ったナマコですらこのような強靱な生命力を発揮するので、火事場の馬鹿力でしょうか。ナマコにできて人間にできないはずがありません。ということは嫌な奴と一緒に過ごすのも長生きの秘訣かもしれません。仲よしこよしだけでは長生きできない？ヒトは学校、

職場、地域社会などで多くの人との出会いがあります。中には当然嫌な奴があり、ついつい避けてしまいがちです。しかし長生きしようと思えばこのナマコとカニと同様、適度の緊張感が必要で、嫌な奴も欠かせない大事な存在なのかもしれません。

ナマコのこの強靱な生命力が何に起因するのは勉強不足でよくわかりませんが、人間ではアドレナリンや副腎皮質ホルモンなどのストレスホルモンの分泌で対抗しています。これらのホルモンが分泌されないとストレスには耐えられません。ただし副腎腫瘍などでこれらのホルモンが無秩序に分泌されると高血圧、肥満などの病気を招きます。そうです、適度の緊張こそが大事なのです。強いストレスが長期間持続するとやはり病気になり、長生きできません。おそらくナマコも1日が限度だったに違いありません。嫌な奴との付き合いもほどほどに。



消化器・乳腺・移植外科
板本敏行（いたもと としゆき）

看護部だより

楽しい外来を目指しています。脳神経外科外来

脳神経外科外来は、月曜日から金曜日までの午前中に外来診療をしています。予約制ではありますが、曜日によって『特殊外来』としてセカンドオピニオン・血管内治療外来・頸部工工科外来・脳卒中外来と診療を行っています。

これらの診療と平行し、脳卒中・頭部外傷等の緊急性を要する救急対応もっており、スタッフで協力して迅速かつ安全に検査・治療が受けていただけるように援助しています。

身体面に限らず、精神面・社会保障面にもケアができるように、院内スタッフと連携をとっています。何かございましたら、お気軽にご相談下さい。

また「ワンポイントアドバイス」を掲示していますので、待ち時間などを利用してご覧下さい！！

